

キャリアの軌跡 第43号

長崎大学病院で研修した松田真和先生が、基本的臨床能力評価試験で全国1位の成績を記録!!! ここでは、研修を終えたばかりの松田先生に長崎での2年間についてお聞きします！

2014年4月7日 長崎大学病院
医療教育開発センター発行

長崎に来て
ホンマ
良かった!!!

「出会いに恵まれ、多くの経験ができた2年間。
長崎でたくさんの力をつけることができました」

松田 真和 先生

大阪医科大学出身。病院では真面目なことで評判ですが、ソフトテニスで13年やっていたスポーツマン。さらに研修医になる前には、国際協力NGOで地球一周するなどとても行動派です。

Q 基本的臨床能力評価試験で全国1位、おめでとうございます！ 今の感想を聞かせて下さい。

松田先生(以降、松) 長崎大学病院での初期研修の成果が目に見える形になり、皆さんに喜んでいただけたことはとても嬉しかったです。長崎でお世話になった方々に恩返しできたかなっと思っています。

Q 病院全体で喜びました。2年間のご努力の成果ですね。松田先生自身の自信にもつながったのでは？

松 試験終了後すぐに答え合わせをしたので、間違っている部分が気になっていました。間違いがある以上、満足できないし、そういう意味ではまだ自信につながっているとは言いきれません。

Q 負けず嫌いの性格だとお聞きしています。さすがです。ところで、松田先生は関西の大学のご出身ですよ。なぜ長崎大学病院を選ばれたのですか？

松 もともと、長崎県とは縁もゆかりもないんですよ(笑)。ただ、これまでも生まれは岡山、中学高校は兵庫。大学は大阪と転々としてきたので場所にこだわりはなく、いろいろな所を見たいと思っていました。そして長崎大学病院に見学に来た理由は、感染症に関心があったからなんです。長崎大学病院の熱研内科(感染症内科)は有名ですから。そのときプログラムについての説



1年目は年に4～5回実施される「実力アップセミナー(国内外より研修医教育のカリスマを招聘し、ワークショップ形式で、様々なことを学ぶセミナー)」で皆勤賞でした。

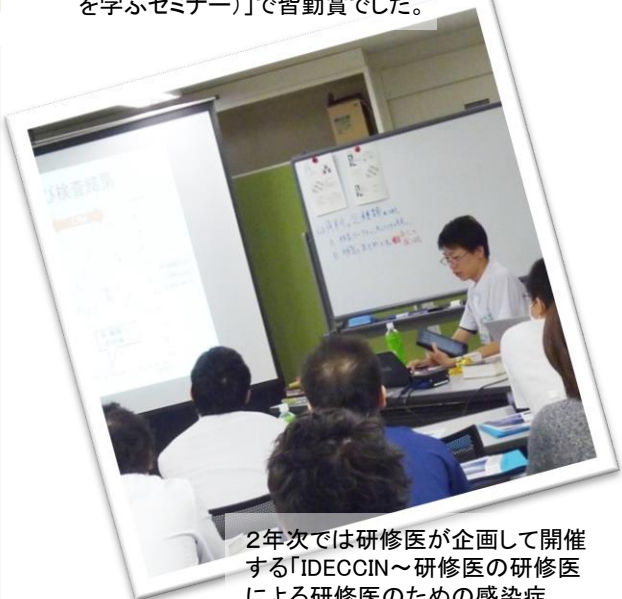
明も受けました。長崎大学病院は、日々プログラムを更新しているし、「全国一の研修プログラムにする！」と語る浜田センタ―長の熱さに触れて、この病院ならいい研修ができると確信しました。

Q 2年間で過ごされて長崎大学病院の研修プログラムをどう感じていますか？

松 長崎大学病院が推進する「たすきがけ方式(1年を大学病院で、もう1年を協力病院で研修する方式)」で、とても充実した2年間を送れました。私は1年目を大学病院で、2年目を長崎医療センターで研修しました。ふたつの病院は雰囲気はまったく違うし、患者さんのニーズも違います。長崎大学病院は重症の患者さんが多く来られるので他では経験できない症例を診ることができます。一方、医療センターは地域に密着した病院として、プライマリケアを経験できました。どちらの病院にも深く関わることができ、ともに学びが多かったです。

それと、これはプログラムではありませんが、大学病院では多くの同期がいたことを心強く感じました。夜遅くまで研修医室に残ってサマリーを書いたのはいい思い出です。長崎には頑張り屋が多いですね。いい仲間に出会え、とても力になりました。

Q たくさんの経験ができ、良い出会いがあったようですね。ところで、4月からはどの診療科に進まれるんですか？



2年次では研修医が企画して開催する「IDCCIN～研修医の研修医による研修医のための感染症ケースカンファレンス」では世話役として活躍。

松 家庭医を目指します。地域研修で指導いただいた診療所の先生に影響を受けて、その道に進むことを決めました。その先生は、始業前に私のために教育時間を作ってくれ、マンツーマンで指導して下さいました。通常の診療の前後には、在宅医療で家々を回られていました。昔ながらの町医者といった感じで、一日を患者さんのため、誰かのために尽くしている姿は私にとって憧れの医師そのものでした。

Q 地域研修でも「人生を変える出会い」があったんですね。

松 そうですね。もともと、医師を志したきっかけは、医療資源が恵まれない場所で医療活動をしている人物のドキュメンタリー番組を見たことでした。それからずっと、国際協力に興味を持っていましたが、2年間いろいろな経験をしたことで、少し考え方が変わりましたね。今は、患者さんとの関係を築いていくことは、場所に関わらず同じことだと感じています。

これから、人々に必要とされる医師を目指して、求められる場所を探していきたいと思っています。それは、海外かもしれないし、へき地と呼ばれる所かもしれないし、今は分かりませんね。

2年間の研修は終わりましたが、これからも医療教育開発センターは夢を追いかける松田先生を応援しています。また、ぜひ遊びにきてください。



エコ実技セミナーでの松田先生。真剣な表情!!!



一緒に研修しよう！
みんな待ってるよ♪

長崎県内の
若手医師に
聞きました！

ウチの病院の ここが おすすめ！



昨年、長崎大学医学部5年生と長崎県内の若手医師が集った交流会が行なわれました。
その際、県内の病院で研修をしている先生方に、研修先を選ぶポイントや、現在勤務している病院の魅力などを語ってもらいました。



佐世保総合病院
(1年目:長崎大学病院)
研修医2年次
大塚 雅和 先生

「佐世保総合病院を選んだ理由について教えてください。」
症例数が多く、医師も多かったため仕事をしやすいと思ったからです。また同期が多いことも良い点だと思います。

「同期は何人いますか？」
2年次は14人、全体で19人です。研修医室があるのでワイワイ楽しくやっています。10人は病院の官舎で生活していて、たまにバーベキューなどやっています。

「研修先の病院を決めるにあたり、10力所ぐらゐの病院を見学しました。気になる病院があれば、東京でも北海道でも沖縄でも見学に行き、その中で自分にあった病院を選ぶのがいいと思います。」
いい研修かそうでないかは、研修医になってからの自分の「やる気」と「姿勢」にかかっていると思います。第1志望にマッチしても油断せず、また、希望じゃない病院にマッチしたとしても、そこで最大限頑張ることが大事です！



長崎大学病院
(1年目:長崎大学病院)
研修医2年次 吉村 聡志 先生



佐世保でおすすめの店:ファットマン
ステーキハウス、たこ坊、その美
観光スポット:西海パールシーリゾート



**長崎みなとメディカル
センター 市民病院**
研修医1年次 山口 峻 先生

「貴院のおすすめのポイント、魅力などを教えてください。」
通勤する際に海沿いを歩いて行けるので気分転換になります。医局と病棟が近くて行き来が楽なことや、コンサルテーションする際の敷居が低く診療しやすいです。

「研修体制はどうですか？」
研修医数としては普通、もしくは少し多いと感じられますが、当直帯のシフトの自由度は高いと思います。

「救急患者の対応はどうですか？」
呼び入れ↓問診↓診察↓検査↓処置↓診断↓治療↓帰宅まで可能。最終的には上級医と相談してから帰宅、入院の判断を決定するので安心できます。



佐世保中央病院
研修医2年次 佐藤 慧 先生

「佐世保中央病院を選んだ理由、決め手は何ですか？」
フットワークを軽くして仕事ができる中堅病院で、なおかつ研修したい診療科がほぼ全て揃っているためです。

「これまでに、どのような手技をマスターしましたか？」
手技は豊富です。中心静脈確保、動脈ライン、挿管、腰椎穿刺など、かなりの数を経験させていただきました。
1年目の某研修医は循環器内科の先生に呼び出しの連絡を頼んでおり、半年間で30件以上、除細動をかけたとのこと。



健康保険諫早総合病院
研修医2年次
長田 和義 先生

「健康保険諫早総合病院を選んだ理由を教えてください。」
空気が自分に合う感じがして好印象でした。研修システムもまた自分のイメージと近いものでした。

「指導医の先生や研修体制についてはどうですか？」
内科系は基本的に全診療科があり、スタッフ数も多く、充実しています。外科系も含め、それぞれの科の連携が良いため、コンサルティした時などは研修科でない先生からも直接教えてもらうことが多いです。

「休みの日は何をしていますか？」
土日は基本的に休みですが、だいたい午前中回診して、勉強すべきことや仕事の残りをして、午後や夕方から空くことが多いです。日当直は月5〜8回くらいですので、休日もよく入っています。

「労災病院の魅力について教えてください。」
圧倒的な症例数が魅力です。手術はもちろん、外来、急患が多く、勉強会もあり、熱心な指導医や面倒見がいい若手医師がいます。

「指導医はどうですか？」
整形外科に関しては、長大10名、佐賀大2名、産業医科1名の北部九州合同グループで、指導医は豊富かつ教育熱心です。

外科、脳神経外科も充実しており、たすきがけやトライアングルコースで集中的に外科系を経験したい人にお勧めです。



長崎労災病院
(初期研修:長崎大学病院)
4年目医師
竹内 潤 先生



これから研修先を決める医学生に、一言お願いします！

「自分が何をしたいか、どういった医者になりたいかといった点を想像しながら選ぶと良いと思います。(山口先生)」
「自分に合うなと思うところに行けばいいんです。いい出会いを探してみてください。(長田先生)」
「いろいろな病院が良く見えてきますが、将来のことを考えて研修病院を決めたい人はいないかなと思います。(大塚先生)」
「長崎で医学を学んだというチャンスを最大限生かしましょう。(竹内先生)」

「研修、楽しいですよ！(佐藤先生)」

長崎大学病院 医療教育開発センター
〒852-8501 長崎市坂本1丁目7番1号
TEL:095-819-7847 FAX:095-819-7882
MAIL:kaihatu@ml.nagasaki-u.ac.jp
HP:http://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/kaihatu/
ブログ:http://careerngs.exblog.jp/